

志津小学校

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブ・ラーニング」「配慮を要する子どもの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」を作る。

【学校 目標】

○「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた＝誰ひとり取り残さない学校づくりをすすめる。
 ①「共通理解・共通実践」による授業改善の充実 ②どの子どもも学びやすい「多様な学びの場づくり」の充実
 ③「スクールESDくさつ」の取組による「地域とともにある学校づくり」の充実

【現状と課題】

○視点1 誰ひとり取り残さない教育を実践していくために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進・充実を図る必要がある。
 ○視点2 生徒指導上の課題が減らない現状にあり、一人ひとりの自己有用感を高めるとともに、どの子どもにとっても安心・安全な居場所としての学級集団づくりが必要である。
 ○視点3 教員増に伴い、「共通理解・共通実践」をさらに図る必要がある。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○ICTを効果的に活用し、必然性のある意図的な話し合い活動を仕組むことを共通実践としたNew草津型アクティブ・ラーニングによる授業改善を進める。	・【児童アンケート】自分の考えがよりよくなる話し合い活動ができる。(考えを深めることができる。)強い肯定率:1回目 40% 2回目 45%		
	・【児童アンケート】ICTを使うことで、学習の内容がよく分かる。強い肯定率:1回目 40% 2回目 45%		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○個を大切に作る学級経営、組織的な対応を図る学年集団づくりをする。 ○生徒指導、教育相談体制の充実を図る。	・【児童アンケート】自分にはよいところがあると思う。 強い肯定率:1回目 45% 2回目 50%		
	・【児童アンケート】安心して生活や勉強ができる学級である。 強い肯定率:1回目 55% 2回目 60%		
	・【児童アンケート】こまっていることがあったとき、先生に相談できる。 強い肯定率:1回目 45% 2回目 50%		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「共通理解・共通実践」のもと総合的な学習の時間の充実を図り、「スクールESDくさつ」プロジェクトを実践することで、「社会に開かれた教育課程」を推進する。	・【市スクールESDくさつアンケート】地域や社会をよくするために何をすべきか考え、行動することがある。 強い肯定率:1回目 35% 2回目 38%		
	・【教員の自己評価】「社会に開かれた教育課程」を推進できるよう、総合的な学習の時間(生活科)の充実を図ることができている。 強い肯定率:90%		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか。

- ①校内研修全体会(授業研究会・講師講話)
- ②5推進部会(毎月)後の学年会での「共通実践シート」を活用した振り返りによる共通理解・共通実践の定着化と改善策の検討
- ③教育相談週間「きいてきいてタイム」(6月・10月)+児童アンケート(5月・9月)
- ④ESD推進研修会報告会(8月・2月)
- ⑤読み解く力研修会報告会(2月)
- ⑥学力向上マネジメント会議報告会(4月・9月・2月)
- ⑦指導主事による学校訪問時における指導を受けての改善策